

令和元年度 第2回

「支え合いの取り組み（降雪時等）の輪を広げるためのアイデア実現に向けて」
（グループワーク）

1. 課題解決に向けた行程



今ココ！

2. 話し合い（グループワーク） 【全体70分】

▶ 本で行うこと

支え合いの取り組み（降雪時等）の輪を広げるために 自治協として自ら取り組むアイデアについて検討します。

▶ 話し合いのポイント

- ・自治協として取り組む具体的なアイデアについて話し合います。
- ・降雪時に限らず、支え合える地域づくりという視点で話し合いましょう。

◀ 話し合いの流れ ▶

(1) グループでの話し合い【45分】

① 「いままでに出し合ったアイデアに関連する新しいアイデア」について

- ・各自でフセンに書き出しましょう。（5分）
- ・グループ内で1人ずつ発表しましょう。（15分）

② 「自治協で自ら実現に向けて取り組んでみたいアイデア」について

- ・これまでの話し合いで出たアイデアのうち、令和2年度の西区自治協議会提案事業などで、自ら取り組みたいアイデアを選び、アイデアを具体化しましょう。（25分）

(2) グループの話し合いのまとめ 【10分】

(3) 発表（1グループ3分程度） 【15分】

参考資料

～いままでの話し合いで出た主な意見等（抜粋：自治協で取り組むアイデア）～

課 題	課題に対する取り組み・具体的なアイデア ※ 網掛けは降雪時のアイデア
支え合いの大切さを知らない	<p>【支え合いの大切さを伝える方法に関するアイデア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治協で支え合いの大切さを伝える標語を募集 ・今回、自治協で取り組んだ話し合いや集めた事例、活動の周知 ・自治協広報誌の活用（H30年度の取り組みは紹介済み） ・スコップ等の除雪グッズの配布をきっかけとして、支え合いの大切さを広める。さらにマンパワー不足の一助とする。
コミュニケーション不足	<p>【地域のコミュニケーションづくりに関するアイデア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日に一斉雪かき日を設けてはどうか。顔を合わせるようになるとコミュニケーションが生まれる。 ・雪が何センチ積もったら、かまくらづくり等の行事を行うなど降雪を楽しむ機会を作ってはどうか。 ・近所の高齢者等一人で雪かきが困難な方への声掛け。
マンパワー不足	<p>【若者に協力してもらおう体制に関するアイデア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば各中学校区単位で行っている防災訓練で活躍している中学生の姿を伝えることで、中学生も地域活動の担い手ということ知ってもらってはどうか。 ・高齢者の世代が若い方に積極的の声掛けを行う。 ・親子で参加できる行事を企画し、親子を巻き込んで仲間づくりをしたらどうか。 ・歩道の雪を踏みつける運動を広めてはどうか。